



巻頭特集

Hair Dressing Sin  
就労継続支援A型事業所CONNECT  
代表取締役 長谷川 新さん

# 人とのつながりを大切に

個性的なヘアスタイルを生み出す理容室「ヘアードレッシング Sin」。代表の長谷川新さんは理容師としてサービスを提供する傍ら、障がい者などに就労機会を提供する就労継続支援A型事業所CONNECTを平成27年に設立しました。二足のわらじを履く長谷川さんに、設立の経緯をたずねました。

## 誰に対しても 最高のサービスを提供

今年で開店5周年を迎える、ヘアードレッシング Sin。壁一面に描かれたサイケデリックなイラストが目を引く店内には、多国籍な雰囲気醸成すインテリアが並びます。施術スペースを個室にするなど、顧客がリラックスできるよう配慮。個性的なスタイルを求めて来店する若い世代だけでなく、小さな子どもやサラリーマン、年配者など幅広い年齢層の支持を集めています。「年齢や性別を問わず、『ここに来たい!』と思う誰もが来られるお店にしたいというのが、開店当時からテーマ。子どもであろうと大人と同じように丁寧に対応します」と代表取締役の長谷川新さんは話します。

公務員で転勤族だった父親をみて、人と触れあひながら地元で根付いた仕事に就きたいと思っていた長谷川さん。高校卒業後は奈良江町にある理容室で修業をしながら、理容師免許を取得。「福祉施設から障がい者が来店することもありました。『短ければいい』とか『染めたいって言うてるけど、染めなくてもいいです』などと施設の方

がおっしゃるのを聞いて、本人の意図は尊重されているのだからかと、複雑な思いでいました。23歳で独立。自分の店を持った後も、札幌や東京でセミナー

## Hair Dressing Sin

滝川市栄町2丁目3-4 ONビル2F  
TEL 0125-24-6993  
http://h-d-sin.com  
■営業時間/10:00~20:00  
■不定休



などに参加するなど、技術やサービスの向上に努めています。

## 自分がやらなきゃ変わらない 滝川初のA型事業所を設立

理容室と同じフロアにある就労継続支援A型事業所「CONNECT」では、利用者が丁寧な作業をしています。精神や身体などに障がいがあり、一般就労が困難な人と雇用契約を結び、就労する機会を提供する、就労継続支援A型事業所。利用者は就労に必要な知識や能力を身につけ、一般就労を目指してい

ます。理容室を営む長谷川さんがCONNECTを設立したのは、3年前。「障がいがある人を、お手伝いとして雇ってもらえないだろうか」という顧客からの一言がきっかけでした。

手伝い程度とはいえず、最低賃金は支払いたいと思いつつも、開店2年目で雇用する余裕はなかったといえます。「障がいの有無にかかわらず誰でもお店に来てほしいと思ってるからには、お手伝いとはいえず、お給料を払いたい。その当時の滝川にはA型事業所がありません

でした。その思いを知人に話すと支援者が現れ、長谷川さん自身が代表として平成27年に支援施設を設立。「やってみたいか」と言われたとき、時間もお金も無くて無理だと思いましたが、ここでやらなかったらこのまちは変わらないと思います。人と

の出会いや、さまざまな出来事があるからこそ今があると感じる長谷川さんは、英語でつながりを意味する「CONNECT」を屋号に掲げました。CONNECTには約25人の利用者とのスタッフがいま



## 就労継続支援A型事業所 CONNECT

滝川市栄町2丁目3-4 ONビル2F  
TEL 0125-74-6194

1「熟成黒にんにく」。昨年は試験的に販売しましたが、今年は量産し、苗の間引き作業など、できるだけ多くの栽培工程に携わりたいと目指しています。2丁寧な手つきで作業をこなしていく利用者。長谷川さんの目標は、自社雇用を含めた利用者の一般就職。「自社雇用をした利用者もいますが、障がいも関係なく、働きやすい社会になってくれればと願っています」3母の日用のプリザーブドフラワーのアレンジメントとハーバリウムの製造・販売もしています。今後は父の日用に販売する予定



CONNECTの管理者の加藤修平さん(左)と、サービス管理責任者の今泉拓人さん(右)。「みなさん、病気や障がいを抱えていますが、そもそも『その人』。病気や障がいや一度横に置いて、その人とどう接するか、どうしたらこの人にとっていい方向に導いてあげられるかを考えています」(加藤さん)「3年目と若い会社ですが、3人が就職し、今も頑張る姿を見ると、やりがいを感じます」(今泉さん)

す。空知にある企業から仕事の委託を受けて事業所内で作業するほか、農作業や美装業などにも携わります。昨年は、にんにくの生産者を手伝いながら、「熟成黒にんにく」の自社製造・販売に着手。理容室のほか、滝川ふれ愛の里などで販売し、完売するほどの人気を集めました。「企業様からいただくお仕事に携わる一方で、自社製品の開発にも挑戦したかったんです。農業と福祉が連携して6次産業化できるものはないかと考えていたところ、深川のにんにく生産者さんとの縁が生まれまし

## 仕事・人材の確保は すべて人のつながりで

「ヘアードレッシング Sin」。CONNECTで請け負う仕事も、スタッフ確保も顧客に声をかけて集まりました。人とのつながりには感謝しかありません」と長谷川さんは微笑みます。福祉事業を運営する中で、現場から厳しい指摘を受けたことも。借金を抱えたときもありましたが、失敗や挫折を経験するからこそ、楽しさや喜びを感じられるといいます。「人生の目標は『楽しく生きていくこと』。やりたいことをやっているだけ。今のところ、あきらめたものは何一つとしてありません。あきらめなければ、なんでもできます」と地元の人へエールを送ります。